

# 機能的表示農産物や well-being 向上のための セルフケア食の開発と食によるヘルスケア産業創出

## 講師：山本（前田）万里氏

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）  
食品研究部門 エグゼクティブリサーチャー

食品に機能的を表示できる制度として、現在、特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品、機能的表示食品がある。機能的表示食品制度は2015年4月から施行され、販売者自身が安全性と機能的性について責任をもって明らかにし、その内容を消費者庁に事前に届出る制度である。近年、生活様式が急変し、睡眠の不調、ストレスによる生活習慣病増加等が懸念されており、健康を維持増進する食品の果たす役割の重要性が増しているため、今後は、個人の健康の見える化を適切な方法で行い、機能的表示農産物を活用した、個人に健康状態に適したセルフケア食品を設計、提案できるような個別化システムを提案していくことが重要になる。今まで、健康維持のためにはどのような食品を摂取するべきなのか、内閣府戦略的創造プログラム（SIP2）の中で、個人の健康の見える化を行うための健康人の健康調査データを取り直し解析を行ってきた。ここでは、得られた研究成果や新たな食品認証制度（G-Plus食品）を紹介するとともに、食によるヘルスケア産業の今後の分野間連携について一緒に考えてみたい。

### 【経歴】

1986年 千葉大学園芸学研究所修士課程修了、農林水産省 農業研究センター、中国農業試験場 研究員  
1992年 農林水産省 野菜・茶業試験場 研究員、農学博士（九州大、2002年（独法）農研機構 野菜茶業研究所 茶機能解析研究室長  
2012年（独法）農研機構 食品総合研究所 食品機能研究領域長、2018年（国研）農研機構 食農ビジネス推進センター長  
2019年（国研）農研機構 食品総合研究所 ヘルスケア創出研究統括監、2021年～（国研）農研機構 食品研究部門 エグゼクティブリサーチャー、2015年～ 筑波大学協働大学院教授、2022年～ 一般社団法人セルフケアフード協議会代表理事  
2016年～ 農水省知集積と活用場「セルフ・フードプランニングプラットフォーム」代表 2018年～2023年 内閣府戦略的創造イノベーションプログラム（SIP2）「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」研究代表者

### 【受賞】

2002年日本食品科学工学会奨励賞、2013年内閣府産学官功労者農林水産大臣賞、2016年日本農芸化学会技術賞、2016年日本食品免疫学会産業賞、2018年日本農学賞（読売農学賞）等。

開催日時	2023年9月7日（木）13:30～16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	44,000円（税込）※資料付 *メルマガ登録者 39,600円（税込） *アカデミック価格 26,400円（税込）	

\*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。  
★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。  
★【セミナー対象者】企業（食品、流通、小売等）における開発部門、アカデミアにおける基礎研究や応用部門において、機能的表示食品、健康関連食品などに関する開発を行っている研究者、食に関連するヘルスケアに興味のある事業者 ★【得られる知識】・機能的表示制度、栄養機能食品制度などの日本における機能的表示食品の表示制度や市場の動向について知ることができる。・機能的表示農産物の届出における注意点を知ることができる。・国のプロジェクト（内閣府戦略的イノベーション創造プログラム）で実施された食品とヘルスケアに関連する研究内容や成果について知ることができる。・今後の食品とヘルスケアに関する研究の方向について考えることができる。

### 【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 日本における機能的を表示できる食品表示法について
2. 機能的表示食品の市場と機能的表示農産物の現状
3. 機能的表示農産物届出において注意すべき点（機能的性関与成分値のばらつき、分析、研究レビュー）
4. 戦略的イノベーションプログラム（SIP）におけるヘルスケア・食に関する研究
5. 研究成果と社会実装（新たな食の認証）
6. 目指すべき社会とヘルスケア・食における今後の研究方向

弊社記入欄		ウェビナー申込書	
セミナー名	機能的表示農産物や well-being 向上のためのセルフケア食の開発と食によるヘルスケア産業創出 (9/7)		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	会社名（団体名）	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
氏名	お支払方法		お支払予定
	銀行振込 ・ その他		2023年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。  
■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。  
■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053  
■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号  
**03-3291-5789**

2023年9月7日（木）開催

# 機能性表示農産物や well-being 向上のための セルフケア食の開発と食によるヘルスケア産業創出

**講師：山本（前田）万里氏**

**国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）  
食品研究部門 エグゼクティブリサーチャー**

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

## 【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。  
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

## 【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

## 【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声がかかる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。